

昭栄設備工業が函館市に寄付

◎ 2022年2月21日 3時00分



工藤市長（右）に目録を贈呈する村田社長

昭栄設備工業（函館市美原3、村田信吾社長）は14日、高度救急処置用訓練モデル2セットと、情報収集活動用無人航空機（ドローン）1台の購入に充ててもらおうと、函館市に850万円を寄付した。購入した機材は函館市消防本部に配置、災害発生時に活用される。

同社は1972年の創立から50周年を迎え、地域貢献を目的に寄付を申し出た。市役所で開かれた贈呈式には村田社長が出席し、工藤寿樹市長に目録を手渡した。

救急処置用訓練モデルはモニターとリモコンを使って救急救命処置の実習が可能な機材。ドローンは赤外線カメラ機能が備わり、災害時に人間の体温を感知して行方不明者を検索できる。

工藤市長は「このような寄付は大変ありがたい。人命救助のために有効に活用させてもらう」と謝辞を述べた。村田社長は「これまでも地域の防災活動に携わってきたが、今後も全力で支援していきたい」と話していた。（小川俊之）